

平成 22 年度臭気モニタリング結果について

1 目的

現在問題となっている悪臭公害について、悪臭公害の実態を把握することにより、原因事業所（養豚事業所及び堆肥製造事業所）への指導の充実を図り、悪臭問題の早期解決に資することを目的としています。

2 モニタリング方法

- (1) H22.6.9～H23.3.31 までの期間において、1日1回以上臭気を調査し、調査時刻、風向き、風の強さ及び次に示す臭気強度の状況を「調査票」に記入し、諸事情により調査できない日があった場合は、欠測としました。
- (2) 調査時刻は、これまで悪臭を感じた時間帯を勘案するなど、各自の判断に委ねることとしました。
- (3) 調査回数は、1日に1回以上であれば、何回実施しても構わないこととしました。
- (4) 調査報告は、記入した「調査票」を1週間分（月～日曜日）まとめて、市へ報告することとしました。

<3段階臭気強度表示>

臭気強度	内容
0	無臭
1	臭う
2	強く臭う

※臭気強度の前に、臭いの種別（M＝養豚事業所、S＝堆肥製造事業所、W＝両者、X＝不明）を表記

3 総括

今回のモニタリングは、延べ23名の方の御協力をいただき実施しました。前回のモニタリングの反省点を踏まえ、気温が高くなる時期から実施したところです。

モニタリングは、臭気確認時刻が一定でないこと、欠測があること、モニターの感覚により臭気の強度が変わることがあることから、正確な状況を反映することは難しい面があるものの、臭気のおおよその拡散状況を把握することができるため、原因事業所による悪臭対策の改善状況や悪臭苦情との整合を図ることができ、大変貴重なデータとなりました。

モニタリングの結果から、原因事業所の臭気は、原因事業所に近い南原石垣町地区を中心に、通町を含めた市の南部に集中し、また、臭気が確認される時間帯は、夕方、夜間、朝に多いことが特徴的であり、市へ寄せられる悪臭苦情件数と整合している状況であることが分かりました。両事業所の対策により、臭気が市の中心部まで漂う頻度は減少傾向にあるものの、依然として市の南部に強い臭気が漂う頻度が高くなっている状況ですので、原因事業所に対し、更なる臭気対策を求めていく必要があると考えております。